



議会だより

2015.5  
Vol. 46

# ふじかわぐちこ



## 町民福祉館 ふじやま 竣工式

- こういうことを決めました 2 P
- 予算特別委員会 6 P
- 一般質問 14 P
- 窓・議会見聞録 18 P

# 町の歳入・歳出 108億9000万円の内訳

## 第1回 定例議会

平成27年第1回定例会は、3月9日に開会し、会期を24日までの16日間と決め平成27年度の予算等を審議しました。

町財政ですが、国による市町村合併に係る地方財政措置により、昨年度から交付税措置の減額が段階的に始まっており、平成32年度には交付税措置が終了します。

平成27年度の一般会計予算額は、前年度と比較して約4億8,000万円の増額となり、歳入歳出それぞれ総額108億9,000万円となっています。

本年度の主要事業として、登山道線の電線地中化道路改良事業、本栖湖青少年ス

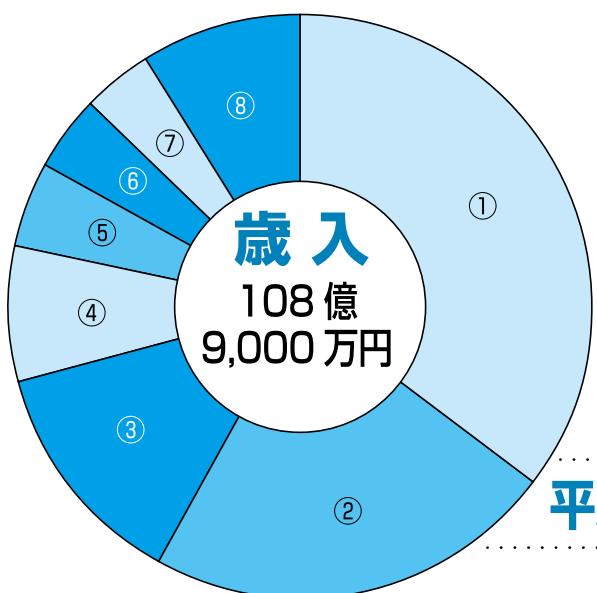
ポートセンターグラウンド整備事業、河口多目的広場建設事業や、福祉・教育の向上を目的とした小立福祉ゾーン整備事業や勝山地区公民館整備事業等の説明がありました。

一般質問は4人の議員が登壇し質疑が行われました。

条例の制定、条例の一部改正、補正予算他を審議し、原案どおり可決しました。

また、平成27年度一般会計予算と32の特別会計予算は、予算特別委員会を設置して集中審議を行い、すべての予算を原案どおり可決しました。

### 主要事業に電線地中化 グラウンド整備 河口多目的広場建設 福祉ゾーン整備 等



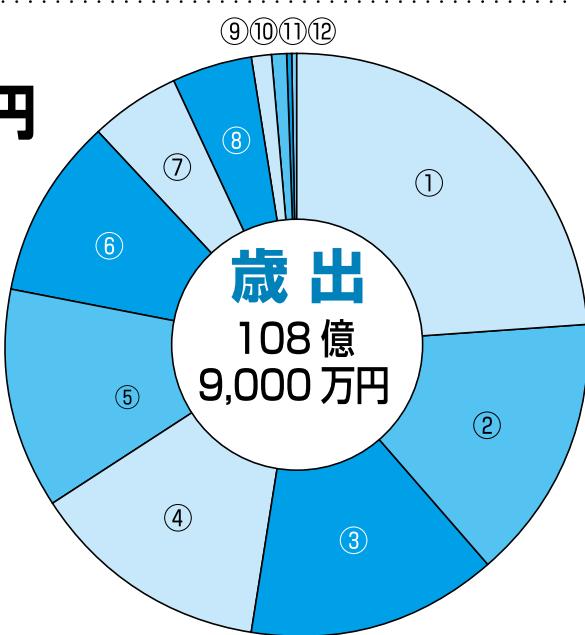
**歳入 108億9,000万円**

① 町税	38億6,475万円	35.5%
② 地方交付税	24億8,000万円	22.8%
③ 町債	13億8,140万円	12.7%
④ 国庫支出金	8億3,262万円	7.6%
⑤ 県支出金	4億9,256万円	4.5%
⑥ 地方消費税交付金	4億7,000万円	4.3%
⑦ 繰入金	4億2,512万円	3.9%
⑧ その他	9億4,355万円	8.7%

### 平成27年度一般会計予算の内訳

**歳出 108億9,000万円**

① 民生費	26億1,955万円	24.1%
② 公債費	15億8,633万円	14.6%
③ 教育費	15億3,282万円	14.1%
④ 総務費	14億3,351万円	13.1%
⑤ 衛生費	13億3,630万円	12.3%
⑥ 土木費	10億9,437万円	10.0%
⑦ 商工費	5億3,965万円	5.0%
⑧ 消防費	4億8,339万円	4.4%
⑨ 農林水産業費	1億3,449万円	1.2%
⑩ 議会費	1億0,203万円	0.9%
⑪ 諸支出金	1,756万円	0.2%
⑫ 予備費	1,000万円	0.1%



# こういうことを決めました!

## ● 条例の制定

6 件

- ◆ 1 富士河口湖町保育所における保育の実施に関する条例を廃止する条例の制定について
- ◆ 2 富士河口湖町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について
- ◆ 3 富士河口湖町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について
- ◆ 4 富士河口湖町市民福祉館ふじやま設置及び管理条例の制定について
- ◆ 5 富士河口湖町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例の制定について
- ◆ 6 富士河口湖町立保育所条例の制定について

## ● 条例の一部改正

9 件

- ◆ 1 富士河口湖町地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について
- ◆ 2 富士河口湖町行政手続条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 3 富士河口湖町職員給与条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 4 富士河口湖町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 5 富士河口湖町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 6 富士河口湖町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 7 富士河口湖町観光業務・文化交流拠点地区内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 8 富士河口湖町地下水保全条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 9 富士河口湖町下水道条例の一部を改正する条例の制定について

## ● 共同設置規約の変更

1 件

- ◆ 1 富士吉田市外一市二町四村一組合指導主事共同設置規約の変更について

## ● 一部事務組合の規約変更ほか

3 件

- ◆ 1 山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更について
- ◆ 2 山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合の解散の件
- ◆ 3 山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合の解散に伴う財産処分について

## ● 補正予算

17 件

### ◆ 1 平成 26 年度富士河口湖町一般会計補正予算(第 13 号)

〈歳入〉	・固定資産税	2,000 万円増額
	・地方交付税	2,224 万円増額
	・西湖いやしの里根場施設使用料	1,011 万円減額
〈歳出〉 平成 27 年度に実施予定のおもな新規事業(予算を繰り越し)		
	・小立福祉センター建て替え	1 億 9,165 万円
	・プレミアム付き商品券事業補助	2,600 万円
	・子育て世帯への商品券交付	1,392 万円
	・「人口ビジョン」など策定	900 万円
	・妊娠・出産支援事業	780 万円
	・低所得者への商品券交付	750 万円
	・世界遺産・富士山誘客プロモーション	350 万円
	・世界遺産構成資産の学術調査研究	277 万円
	・子育て世帯支援サイト構築	200 万円
	・商店や観光売店のキャッシュレス化・免税店化	150 万円
	・サイクルツーリズムによる国内外観光客誘致	150 万円
	・宿泊などの仕入れ手配システム構築	150 万円

### ◆ その他、16 の特別会計補正予算

## ● 請負契約の変更

1 件

### ◆ 1 富士河口湖町居宅介護施設建設工事請負変更契約締結について

## ● 議員発議

1 件

### ◆ 1 富士河口湖町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

## ● 委員の同意案件

5 件

- ◆ 1 富士河口湖町監査委員・・・白壁 喜昭(船津)
- ◆ 2 船津財産区管理委員・・・白壁 和久
- ◆ 3 長浜財産区管理委員・・・三浦 康夫 佐藤 良一
- ◆ 4 大嵐財産区管理委員・・・渡辺 晃 竹田 文明 渡邊 晴夫
- ◆ 5 富士ヶ嶺財産区管理委員・・・竹内 精一 熊谷 義行 江川 透 樋浦 勇蔵  
伊藤 正夫 柏木 勝敏 馬淵 正幸

◆ 1 河口湖ステラシアター及び円形ホールの  
民間業務委託に反対する請願

請願人・・・小佐野 昭二（船津） 渡辺 一正（船津） 渡辺 正（船津）

紹介議員・・・駒谷 隆利 中野 貴民

内容・・・昨年3月定例議会において、河口湖ステラシアター、円形ホールなど文化施設条例の一部改正が議決され、施設の管理運営を指定管理事業者へ行わせることが可能となった。多くの町民から、音楽文化振興ばかりでなく地域経済発展の起爆剤として多大な貢献を果たしてきた両施設を、指定管理業者へ委託すべきではなく、住民が盛り立てながら町の直営とし、運営方法の見直しをしないよう強く要望する。

審議結果・・・賛成少数で不採択

## 第1回 臨時議会

平成27年1月15日

平成27年第1回臨時会が1月15日に開会し、足和田簡易水道事業、本栖下水道事業の特別会計補正予算2件、一般会計補正予算及び請負契約の変更を審議し、原案通り可決して同日閉会しました。

▼平成26年度富士河口湖町一般会計補正予算（第12号）

- ・いやしの里運営事業費 原材料費……………200万円
- ・青少年教育費 委託料……………25万円
- ・ステラシアター管理費 委託料……………184万円
- ・他……………274万円

▼船津福祉センター改築及び町営芙蓉の湯改修工事請負変更契約締結について



新しくなった船津福祉センター

# 町の予算が有効に使われるか 委員会でチェック!

平成27年度予算



## 予算特別委員会

委員長 高山 泰治  
副委員長 渡辺 美雄

特  
別  
会  
計

### 特定健診の受診状況は

質問 特定健診委託料が2340万3000円で、この間の減額補正が600万円あつたが、人間ドック特定健診等、何名の受診を想定しているか。

住民課長 特定健診集団健診が1700人、人間ドックの基本健診分として400人。

質問 国保の健診率が低いと思うが何パーセントを想定しているか。  
住民課長 平成25年度は20パーセント台が26年度は32パーセントになつたが、27年度は40パーセントぐらい見込んで計算している。

### 国保税の滞納対策は

質問 国保税の収納率を、現年度、滞納、それぞれ何パーセント見込んで予算を組んでいるか。

住民課長 医療分、後期高齢者分合わせて、現年分は、91・5パーセント、滞納分が、17・5パーセント。

質問 滞納が一定以上ある場合、保険証の返還を求め短期保険証を発行していると思うが、どういう基準で発行しているか。

住民課長 滞納者対策実施要領に基づき、過年度分2期の滞納者は6カ月、3期以上未満の滞納者は2カ月、2年以上並びに納付誓約を履行しないものは1カ月以内の有効期限としている。今後要領を改定する予定。

### どのように改定するか。

住民課長 滞納が1期以上あれば、全て1カ月の短期証を発行し、接触する機会を多くして対応したい。

質問 1期以上の滞納となると、相当な人数になり事務的な問題も出てくるうえ、滞納を全部納めないと、1カ月分しか保険証が発行されなくなる。逆に来ない人が増え保険証がない人が増えるのではないか。  
住民課長 税務課とも協議し、ある程度厳しくして公平性を保ちたい。

質問 払えないのではなくて払わないような悪質な場合に限って厳しくするということを伺つたが、そういうことでよいのか。  
住民課長 悪質な場合は、間違いないく差し押さえ、通常はその状況を考慮して対応する。

# 法改正に伴う介護保険 予算への影響は

**質問** 介護保険認定者の増に伴い、居宅介護サービス給付費など保険給付費は伸びているが施設介護サービスは減少している。

これは4月からの法改正による特養の新規入所者要件が要介護3以上になることが影響しているか。

**健康増進課長** 施設介護サービス給付費は2659万4000円減少しているが、地域密着型介護サービス給付費は3600万円増加している。これは施設入所から地域密着型に移行したためで法改正によるものではない。

**質問** それもあるが地域密着型が増えているのは、小規模多機能型施設が開所する面もあると思う。本来なら施設給付費が増えたところだが、減っているのは影響があると思うが。

**健康増進課長** それ以上の要因として、例えば富士山荘が地域密着型に移行したことにより、その入所に係る経費分が増えたことが大きい要因と認識している。

**質問** 予算が増えるべきところ増えていたいのは、法改正の要因があると思うが。

**健康増進課長** 少なからずはあるが、要介護2あるいは1の入所判定委員会の中で意見を反映させるなど総体的に考慮した予算とした。

# 水道料改定と配水池の 新設計画の進捗状況は

**質問** 平成28年の水道料改定に向けての説明、シミュレーションが示されていないがいか。

**水道課長** 資料ができ次第、6月議会前後から各審議会あるいは関係部署等と協議に入りたい。

**質問** 船津地区は非常に水圧が低く、全般的な解決には相当な費用がかかると思うが、その検討状況を伺いたい。

**水道課長** 平成25年に船津地区施設の見直し計画があり、胎内上の配水池から順次改良していく。さらに配水池の新設計画もあり、配管状況、水圧状況、候補地など全体的に検討している、第1段階といったところ。

# 財産区からの繰入れは

**質問** 財産区からの繰入金については、各財産区の理解と協力を得る中で繰り入れてきているが、いつまで続くか。

**水道課長** 下水道財政については、収入3億円、借入金は6億円近く返済という大変厳しい財政状況で運営しており、今後は下水道施設の耐用年数、償却年数等を計算したうえで財産区等と返済の期日について協議を進めたい。

**質問** 各財産区と協議をしていただけることとか。財政力の弱い財産区のことを考慮していただきたい。

**水道課長** 下水道財政については、一般会計から相当額の繰り入れをしている状況であり、財産区等の補助がなければ、一般財源の投入金額等の増となるので、水道課単独で判断ができない。財政あるいは関係機関と協議をした中で、今後の進め方を相談していきたい。



大石若彦配水池

## 本栖湖スポーツセンター 整備事業の詳細を

質問 本栖湖青少年スポーツセンター、グラウンド整備事業の内容の説明を詳しく。

政策財政課長 天然芝のサッカー場1面とその外周トラック、それに伴う排水工事、路盤工事、トラックの回りの芝生工事で、総額2億1000万円の事業。

## FMふじやまの情報発信は

質問 FMふじやまへの運営補助金120万円について、町としてどのような情報発信を考えているのか。

政策財政課長 最優先に防災情報、災害情報、避難情報、町民のみならず来訪者への的確な情報発信。次に観光情報として、イベント、富士山登山者への情報。他には一般行政情報など。

## 移住促進住宅リフォーム 補助の詳細を

質問 空家バンク登録を増やす為の、移住促進住宅リフォーム補助金は新規事業だが、詳しい内容は。



FMふじやま竣工式

## 船津保育所投票所の見直しは

質問 選挙費について、県議選と町長選の予算が計上されているが、第6投票所の急な坂のある船津保育所の見直しをお願いしてあるが検討状況を伺いたい。

総務課長 選挙管理委員会で他の場所も検討しているが、適切な場所が見つかっていない。役場でできる期日前投票を呼び掛けているが、引き続き皆さん 의견を踏まえ探していく。

## 公用車の買い替えは

質問 車の買い替え時期は距離か年数か。

総務課長 距離とか年数というよりも老朽度合いで判断している。

## エスカレーターの使用は

質問 傍聴に高齢者や障害者が来た場合のみ可動する考えは。

総務課長 多方面の意見を伺いながら対応していきたい。

政策財政課長 客観的視野を持つて、精進・本栖地区をどうしたらもっと活性化できるか考え提案していただく。3年間の期限付きなので、その間地域のために働いていただくことを望んでいる。

**質問** 報奨金廃止は財源が不足すれば止む追えないと思うが、前納報奨金廃止の告知はどうするのか。

**税務課長** 4月以降発送予定の納税書に廃止説明文書を同封する。

**質問** 固定資産税前納報奨金2150万円が計上されているが、他の自治体の状況は。

**税務課長** 山梨県内では3～4年前から9市町村が廃止。当町は来年度から廃止する。

## 前納報奨金の状況は



町役場のエスカレーター

## マイナンバー制度の周知は

**質問** マイナンバー制度の負担金が計上されているが、地方公共団体システムに一括丸投げなのか。町民への周知不足が懸念されているが。

**住民課長** 総務省からの事務フローがあり、機構から町民に直接送付。町民は番号の通知とカード申請を受け、カードを申請する町民は機構へ申請書を送付し、機構がカードを手配し役場へ送る。役場から町民に連絡し、カード申請者は受け取りに行く。

**質問** 住基カードは廃止になるのか。

**住民課長** マイナンバーカードを申請した人はカード交付時に住基カードは回収され、使えなくなる。住基カードを使用したい人は有効期限まで使用できる。

## 放課後児童クラブ

**質問** 新年度から基本月額2000円の有料となる。1つのクラブに2人の指導員と、条例でも定めたが指導員の増員は。

**福祉推進課長** 申込み状況を見ると、船津地区は3クラブになりそうだ。社協とも協議のうえ、増員を考える。他地区も同様だ。



## 重度心身障害者医療費

**質問** 1つのクラブの児童数は40人程度が基準とされているが、小立地区は基準超えが予想される。現状の施設で対応できるか。

**福祉推進課長** 小立地区の現状の施設は1棟1室だ。夏休み前までの状況をみながら別の場所も含め増築等検討したい。

**質問** 重度心身障害者の医療費は窓口無料化から償還払いに変わった。医療費貸付制度の利用者状況は。

**福祉推進課長** 利用者は10人に満たない状況である。

**質問** 利用者が少ないのは貸付制度の手続きが難しいことにある。もっと利用しやすい制度になることを望むが。

**福祉推進課長** ひとり親家庭の医療費窓口無料化と同様、該当する子供だけでも同じ制度になることも含め県にも提案していくたい。

## 合併処理浄化槽の補助金

質問 合併処理浄化槽の補助金が対象になる区域について改めて確認したい。

環境課長 合併処理浄化槽の補助金は下水道の計画区域外のみとしている。



町内の不法投棄物を回収

## 不法投棄の現状は

質問 ごみの投げ捨てや不法投棄の現状は。

環境課長 不法投棄に関しては、年々減少の傾向にある。

質問 下水道計画区域内で布設工事に多年

を要する箇所に浄化槽を設置した場合、工事完成後接続しないことが懸念される。接続を条件に補助する考えは。

環境課長 町、県、国の三者で行っている事業であるため、町単独での補助は考えていない。接続については補助制度があるの

で、二重の補助になる問題もある。

質問 実際増えているとも聞く。監視パトロールを行う専任のレンジャーとの連携は。

環境課長 レンジャーの報告をうけ、大規模なものは富士東部廃棄物対策協議会で、その他はリサイクルセンターで対応している。

## 町指定の有料ごみ袋

質問 町には指定の有料ごみ袋があるが、イベント等で出されるゴミに町指定のごみ袋が使用されていないのは。

環境課長 観光課とも協議のうえ、イベントの出店料にごみ処理費も含めているからだが、再度協議する。

## 事業所からの廃棄物処理費

質問 現在、事業系のごみは1トンを超えた分は有料、1トン未満は無料となつてゐるが今後もその考え方か。

環境課長 1トンを超えた分をキロ4円と有料化しているが、平成28年度をめどに新たな有料化の準備を進めたい。

## 小型家電のリサイクル状況は

質問 家庭に眠る不要な小型家電のリサイクルは、町の資源となる有価物だ。PRの徹底を。

環境課長 小規模だが、町の歳入に見込まれる状況になつた。パンフレット等でPRする。

## 公園等のごみ問題

質問 町が管理する公園や駐車場の、ごみ箱設置と収集状況は。

環境課長 ゴミの持帰りと減量化の観点からごみ箱はすべて撤去が基本だ。観光課とも協議のうえ、船津浜・平浜駐車場のみ当面残す。収集は4月から10月までは1日2回、その他の月は1日1回とする。

## そばの葉栽培は

**質問** そばの葉を活用した特産品の開発の経過と場所は。

**農林課長** 経過はそば若葉のポリフェノールの一種ルチンが含まれ健康志向と言う観点からだ。場所は未定。

## 観光資源の運用は

**質問** ハーブフェスティバルに各地区の財産区から協力を得ているが、経済効果は。

**観光課長** 毎年25万人のお客様が期間中、当町へ訪れている。相当の経済効果があると判断している。

**質問** 増加する外国客に対する観光案内所の運営は。

**観光課長** 1ヶ月の利用客数が、この2、3年で、5倍と増え、1万人を超える月もある。観光連盟と協議のうえ、新しい拠点を設けるべく検討している。

**質問** 2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでには至急対応策を検討する必要があると思うが。

**観光課長** 運営方法に合わせて、ホームページの充実、外国語の看板充実で、外国人のお客様の分散化を目指していきたい。

## 道路拡幅登記の進捗状況は

**質問** 道路分筆登記の予算を増額したらどうか。

**都市整備課長** 地籍調査が進むと多数の登記が一気に処理できる。その前段階として個々の要望も処理していく。又減免等もしている。

## 避難路沿道建築物耐震診断

**質問** 避難路沿道建築物耐震診断補助金の対象は当町のどこの路線を指すのか。

**都市整備課長** 133号線沿いの大型建物等が対象。

**質問** 大型の建築物の調査はどのようにするのか。

**都市整備課長** 全ての件数は把握しているので今後説明会等開き進めていく予定。

**質問** 補助金の内容と耐震診断の状況は。

**都市整備課長** 費用の20パーセントは個人負担、残り80パーセントを町・県・国が補助する。耐震診断まではするが、個人負担が大きくなるので改修工事まで進んでいかないのが現状。

## 雨水対策は

**質問** 雨水対策工事7件の場所は。

**都市整備課長** 船津3件、小立4件、いずれも水が溜まる場所。

## 八木崎公園改修事業

**質問** 内容の説明を。

**都市整備課長** 基本方針は、現在のグラウンドを多目的に利用出来るように芝生化する。

**質問** 3億程の予算と聞くが、その費用効果は。

**都市整備課長** ハーブフェスティバル等及び今後の地域住民の利活用による。



八木崎公園

# 住宅リフォーム補助事業

質問 工事の対象は。

都市整備課長 住宅耐震と一般的なりフォームが対象。

質問 補助対象の金額を下げたらどうか。

都市整備課長 他の町村に比べて若干低いと理解している。

## 集合看板整備事業

質問 営業していない看板等、整備の進捗状況は。

都市整備課長 民法上の問題もあるが、景観確保の為隨時指導、又要請もしている。

## 学校教育課関係の質疑

### ICT関連予算

質問 パソコンやインターネットに関する教育の状況は。

学校教育課長 スマホの利用時間は減らすよう、学校から各家庭に通知している。

質問 現在ある据え置き型パソコンの利用状況は。

学校教育課長 使える物は再リースし電子黒板等も含め新しいICTに移行していく。

質問 予算に見合った有効的な活用を。

教育センター長 有効利用する為に、教職員のICT研修会を多く設置し使いやすい環境作りに努めていく。

質問 支援学級の子供たちに対するデジタル教科書等の指導方法は。

学校教育課長 子供たちに合った指導とICTの導入も進めていく。

## ソーシャルワーカーと家庭環境

質問 常勤になるソーシャルワーカーの活用は。

学校教育課長 家庭訪問等する中で有効活用していく。

質問 ひとり親家庭についての考え方を伺う。

学校教育課長 ソーシャルワーカーと福祉と連携し対応していく。

## 町立図書館について

質問 図書館の利用者数と利用状況は。

生涯学習課長補佐 平成26年度の入館者数は12万3千56人であり、1日平均434人である。多い日は、1000人という日があり、少ない日は、250人の日がある。3月の受験前には図書館の学習席がいっぱいになる。



くぬぎ平サッカー場

くぬぎ平サッカー場の利用率アップを

質問 くぬぎ平サッカー場の利用率が低いが、今後の利用率を上げる方法は。

生涯学習課長 長年の利用により、芝の管理状況がうまくいかなくなり、日本サッカー協会、県サッカー協会の大会から外された経過がある。平成26年度から芝生管理の徹底を委託業者にお願いした。散水設備も検討している。

利用率アップを

# 勝山公民館の基本計画と建設費の差は

質問 勝山公民館の工事費が、基本計画よりもかなりの増加となっているが。

生涯学習課長 当初は、勝山老人福祉センターを解体して、公民館建設を検討したが、地域の要望で土地を購入し、建物の大きさが変わった。

質問 基本計画と建設費との落差が大きすぎると思うが。

生涯学習課長 合併特例債や財産区繰入金により財政的負担ができる、地区の要望で将来を見据えて進められた。

総括質疑

## 予算の無駄の排除は

質問 平成27年度一般会計予算は、前年度より4億8000万円増の108億9000万円が上程されている。地方交付税の縮減も始まっている中で、予算の効率化、無駄の排除を行つたか。

町長 税の徴収には、県の支援のもと取り組んできた。ご意見は、頭の中に入れて取り組む。

町長 財政基本計画アクションプランを実行し、28項目の改善点を見出し、総額約6000万円の縮減を図った。

## 合併特例債は

### 必要なものに活用を

質問 合併特例事業債は、返済分のうち交付税措置されるのが7割で、3割は町が負担する。事業を精査し、本当に必要なものに活用すべきだ。

町長 私が精査した中では、必要なものに特例債を活用させていただいていると思っている。

## 税収確保のための新しい課を

### インターネットの陰の部分の学習を

質問 インターネットの活用は、教育にとって重要なが、それと比例して、ネットなどを通したいじめの問題なども出てくる。教育長の認識と対応は。

教育長 子どもたちに、インターネットの陰の部分での学習は避けて通れない。学校と保護者が共に、ネットの危険性をふまえ、使い方などの学習に取り組んでいる。県PTA連合会でも、夜9時以降はネットでのやりとりをしないなどのルールを決めている。

## 財政を「生み出す」発想も必要

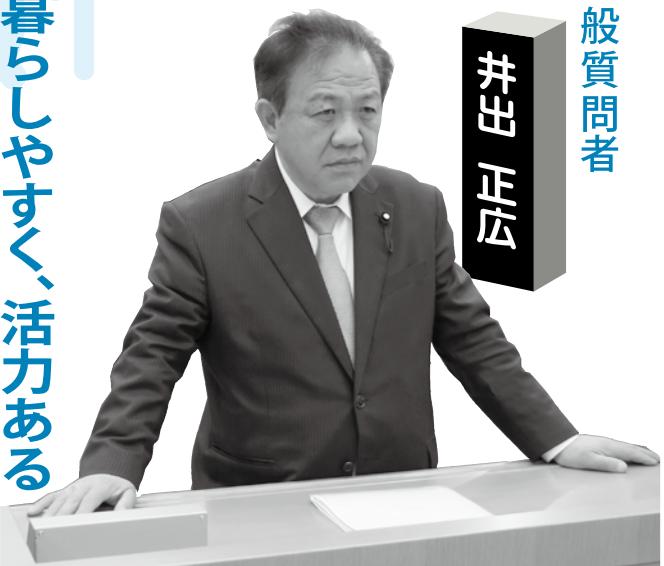
質問 財政厳しい中で、財源を「生み出す」という発想も必要だ。そういう新しい発想を取り入れていくために、町の企画や政策などを、役場の若い職員なども参加して、プロジェクトチームをつくってまとめていくことも検討してはいかがか。

政策財政課長 各種計画策定のときに、できるだけ多くの意見を反映するために、多くの階層、地域の方に参画していただくことが大事と考えている。役場内だと保守的に傾く傾向もあり、外部の意見を反映していきたい。

質問 町税収入が前年度約40億円に対し、新年度は、約38億円と見込まれている。税収確保のために収納のための新たな課をつくるべきでは。

町長 税の徴収には、県の支援のもと取り組んできた。ご意見は、頭の中に入れて取り組む。

井出 正広



## 暮らしやすく、活力あるまちづくりを目指し

**質問 人口増対策として企業誘致活動の取り組みは。**

**政策財政課長** 企業立地アドバイザー招聘事業を導入し、増築や新規設置を計画している企業への直接アプローチを実施。県などの関係機関と連携を緊密に図り、各種セミナーへの参加、プレゼンテーションを実施するなど、広域的に当町への企業誘致活動を展開する。

## 遊休農地対策と特産品の開発は

**質問 果樹を中心とした農産物の試験栽培の進捗状況は。**

**農林課長** 小立島原地区遊休農地に桃の苗木12本を植栽、健康科学大学の学生の協力を受けブルーベリー、カシスを富士ヶ嶺高

町長 地域住民と国内外観光客の双方のニーズに対応するテナントやサービスをそろえたリゾートアウトレットについては、立地条件が整えば検討する価値は十分にあり、外国人観光客が増加する中で、キャッシュレス化、免税店化はインバウンドの需要を取り込む有効な手段であることから、積極的に導入を図る。

## 質問 北陸新幹線の効果にあやかり当町を首都圏のベッドタウン化に。電車が町内を横断して富士駅までつながるような壮大な構想があるか。

**町長** これらの提案が実現可能であれば、観光経済面のみならず地域振興には計り知れない絶大な効果が期待できると思うが、富士北麓地域が世界文化遺産となつたことから、現実的に大きな課題があると想定され、町では長期ビジョンに位置づけ、検討する。

## 少子化対策や人口増のための転入促進対策は

**質問 少子高齢化や中心市街地の衰退など多くの課題を抱えているが具体的な少子化対策や人口増のための転入促進策は。**

**町長** 空き家バンク、新築住宅建設等奨励制度、富士山暮らし応援隊などの制度や団体を活用し、移住希望者に対し支援を実施する。様々な施策を複合的に展開し、人口対策や移住促進に積極的に取り組む。

冷地実験農場に植栽、いずれの果実も、今後の生育状況を見ながら栽培希望者への推薦などを行い、遊休農地の解消に努める。

**質問 遊休農地が一向に減らない原因の一につい、後継者不足があるが魅力ある農家を目指し、若者の担い手をふやすことは深刻な問題と考えるが。**

**農林課長** 農家の高齢化、後継者の確保は第1次産業の維持、発展のために重要な課題であると認識し、担い手の確保と遊休農地の解消のために、農業法人などの企業との提携による研修生の雇用、農産物の契約栽培の構築など、後継者確保のための有効な手段であると想定され一人でも多くの担い手確保に努める。

# 知りたい聞きたい



中野 貴民

一般質問者

## 平成27年度の編成予算の方針や特色は

質問 世界遺産登録の実現やアベノミクスによる地方創生、最近では田舎暮らしで住みたい県ナンバーワンに山梨県がなった。平成27年度は2期目の最終年度だが、町長が一番こだわりを示した予算は。

町長 限られた一般財源を有効に活用しながら財政の健全性の維持も両立した行財政運営を行うために、国庫補助制度や有利な起債制度などを有効、適切に活用し、特定財源の確保に努め、予算編成を進めた。

## 船津小学校の建設を

質問 雨漏りや壁の崩落も複数箇所に発生している。こういった状況の報告を受けていると思うが、今後の整備方針と船津小学校に対する町長の考えは。

町長 船津小学校は、昭和35年に南館校舎が建設され、また昭和39年に北館校舎が建設された。築55年及び築51年と半世紀以上の年月がたっている。今後の委員会では、広い視野でさまざまな方向から検討していただきたい。大切な子供たちのために安全で快適な学び舎になるための建設を目指していきたいと考える。

## 野生鳥獣対策は

質問 野生鳥獣による農作物の被害は年々ふえているように感じる。地球温暖化など自然環境の変化も一つの要因だが対策は。

農林課長 今年度は、狩猟免許の取得者に取得費用を軽減するために補助金を設けた。結果、6人が狩猟免許を取得した。猿対策としては、花火やエアガン等で追い払い、地域で協力しあい、理解を得ながら進めていきたい。

## 円形ホールの文化意識は

質問 昨年の3月議会において河口湖ステラシアター及び円形ホールの設置管理条例の一部改正が行われ、民間業者への指定管理も可能となつた。これに対し、直営継続を望む方々から請願書も出されているが。

文化振興局長 ステラシアターは、町民誰もが文化に親しみ、魅力ある富士河口湖町の文化を創造するためにある施設だと思っている。今後、町と指定管理者と役割分担の考察や文化施設の指定管理者制度導入の成功事例なども参考にし、さらに専門的な知見を有した方々の意見も踏まえた中で、町民の皆様の多くが納得していただける運営方針を決めていきたい。



船津小学校の天井と壁

## 一般質問者

佐藤 安子



## Q1 地方創生戦略をどう考えるか

質問 地方創生のかぎは、地域の資源を生

かし、責任を持って戦略を推進できるかど  
うかといえる。「地方版総合戦略」策定を

どう考えているのか。また、地方創生戦略  
の人材確保をどのように考えているのか。

**政策財政課長** 地方版総合戦略を策定する

ことは極めて重要。策定に当たっては、地  
域の実情に精通した方々で構成する組織を  
立ち上げ、中身のある充実した戦略を策定  
したい。

また、相談窓口として、国が地方創生コ  
ンシェルジュを運用しており有効に活用で  
きるのか検討していきたい。

**町長** 当町の強みをさらに磨き上げ、多く

の人に魅力を感じてもらえるように、観光  
産業と他産業を組み合わせて新たな価値を  
創出し雇用機会を増やしたい。

## Q2 父親育児支援は重要な取り組み

質問 近年、家庭における父親の役割につ  
いて「イクメン」に代表されるように大変

関心が高まっている。父親が母親の子育て  
の補助的役割という位置づけでの子育て参  
加ではなく、父親が親としての本来の力を  
発揮できるようにするために、父親育児支  
援について執行部の考え方伺う。

**福祉推進課長** 子育て支援はさらに充実さ

せ、多くの情報を提供していく必要があり、  
ウェブサイトやスマホなどの活用を考え  
ている。今まで、子ども未来創造館を中心  
に各種事業、イベントを開催してきたが、今  
後は父と子だけの事業やイベントも検討し  
ていきたい。また、男女共同参画の観点か  
ら、職員の男性育児休暇（短期）取得者を  
ふやす取り組みを進める予定。

**健康増進課長** 妊娠、出産、育児についての

正しい知識の普及のため両親学級には、父  
親の参加をいただいているが、乳児健診時  
にも父親に参加をいただくよう、通知に記  
載し積極的参加を促したい。

## Q3 子どもたちへのがん教育は

質問 がんの予防や治療に対する正しい知  
識を基本的生活習慣が身につく子どもの時  
期に学習することが大切である。がん教育  
に関してどのように認識されているのか。

また、医師やがん経験者などを活用して、  
がん教育を充実させてはどうか。

**教育長** 子どもたちの時代からのがん教育

は大変重要であり、この学習を通じて命の  
大切さを学び大きな教育効果が期待でき  
る。町内の学校では、その取り扱いの差は  
あっても、全ての学校で取り上げている。

外部人材による指導は、がん教育の場面  
でも十分に使えると思う。また、参観日に  
がん教育授業の様子を見ていただくなどの  
方法も検討したい。



つどいの広場



山下 利夫

一般質問者

質問 道路の穴埋めや水道の漏水調査などは、毎年、町内全域を1社で実施している。また、今後、街灯のLED化が本格的に事業化される予定だ。これらの事業は、地域を分けて発注するなど、作業や物品の仕入れなどを、より多くの地元の小規模業者が受注できるように検討すべきではないか。



傷んで穴があいた道路

## 小規模業者の仕事を増やして

増やして

質問 道路の穴埋めや水道の漏水調査などは、毎年、町内全域を1社で実施している。また、今後、街灯のLED化が本格的に事業化される予定だ。これらの事業は、地域を分けて発注するなど、作業や物品の仕入れなどを、より多くの地元の小規模業者が受注できるように検討すべきではないか。

質問 ステラシアターは、音楽祭を始めとして、町民の文化振興に重要な役割を果たしている。一方で、集客を主な目的としたイベントもある。町は運営形態の見直しを検討しているが、その前に、次の2点の検討を。  
 ①事業や経営の精査、見直しを。  
 ②町民参加の継続、発展を。

町長 ①音楽祭などは、町民の文化振興のうえで意義があり継続すべき。ほかのイベントは、運営形態の動向も合わせて、多くの方の意見もふまえ検討する。  
 ②運営形態が変動しても、ステラシアターは町民のもの。従来どおり末永くご協力を。

質問 国民健康保険は現在、各市町村が運営しているが、都道府県の運営に変えられようとしている。いま必要なのは、国や県の支出を抜本的に増やし高い国民健康保険税の引き下げを行うことであるが、今回の「都道府県単位化」で、国や県の支出が多く増えるわけではなく、町の事務負担や町民の税負担が今後増える可能性もある。町として国に反対の表明を。

住民課長 「都道府県単位化」は、財政基盤の安定化、効率化、事務の標準化などにより、国民健康保険の運用を安定させ、町民サービスを確保していくために必要であり、反対の表明はすべきでないと考える。

## 町営住宅北八津団地の建て替え、家賃補助の実施を

質問 町営住宅北八津団地は老朽化しており、入居募集をストップしている。建て替えや改修などを、入居者の意見をよく聞いて推進を。また、若者や子育て世代の生活支援のために、家賃補助制度の実施を。

町長 現在、雇用促進住宅への移転を基本に検討している。同時に、耐震性が確保されている北八津団地E、F、G棟の改修工事を計画的に行う。当然、入居者の意見聴取はていねいに行っていく。家賃補助制度は、先進地事例などを勘案し、総合的に判断する。

総務課長 地域を分けて発注する、また、金額を区切つて一定の金額以下は優先的に小規模業者のみから見積書を徴するなどの方法は、検討に値する。一方で、公共工事であり、品質管理、迅速性なども求められる。今後、役場内一致した方針のもと、小規模事業者の保護、育成をはかり、受注機会の拡大に取り組む。

# ステラシアターの事業を精査し町民参加を広げて

# 国民健康保険の「都道府県単位化」に反対の表明を

# 先人たちと自然が育てたヒメマス

西湖漁業協同組合長 三浦 久

西湖に初めてヒメマスが放流されたのは1913(大正2)年。「甲斐の魚(寺田重雄著、1955年出版)」には「大正元年、漁業組合を盛り立々、湖畔の山腹に二間に九尺のマスの孵化場を作り、翌二年、十和田湖の和久内孵化場のベニマス5万粒を孵化させた。これが山梨県で正式にベニマスを放流した一番古い記録である」と記述がある。ベニマスはヒメマスの別名。

西湖北東の山腹にあるマス小屋で、いくつもの木の水槽で卵を孵化させ稚魚を育て、鶏卵をゆでて黄身を裏ごにして稚魚の餌とし成魚になると採卵して人工授精を施した大正末期から昭和初期にかけてのことだった。

県水産技術センターがまとめた西湖への放流記録によると、第一回のヒメマス卵5万粒孵化の後1916(大正5)年には成魚1040尾仕上げ尺6寸あったと記録されています。

その後、1930(昭和5)年まで工口湖、洞爺湖、田沢湖産等の卵を仕入れ放流事業に力を入れてた昭和5年に田沢湖から10万粒の卵を仕入れていたがこの中にクニマスの卵も混ざっていたかも?・?(昭和10年にクニマスの卵を入れている)

ヒメマスは姿が美しく、美味である



## 炭火で焼かれるヒメマス

私たちには先人たちから預か<sup>たま</sup>ったこの素晴らしい資源を損なうことなく、より良い形で次の世代に伝えて行く事が使命だと思っています。

短絡的な目先の利益追求より、自然豊かなこの西湖の環境を守つて行く事が西湖の発展に繋がつて行く事と確信しています。

マス小屋で飼育していたのは私の祖父であり、祖父が手掛けたヒメマスの仕事を孫が携わっている不思議な縁、運命の糸のようなものを感じます。

ことから、地元では特産物として珍重され、貴重な観光資源となっています。西湖で絶滅したとされたクニマスが発見されました。クニマスが長い間生息できたのは清らかな水に育まれた湖の環境を守り続けてきた先人たちの弛まない努力があつたからこそだと思います。

## 議 会 見・聞・録

( 船津 井出 一夫 )

3月11日初めて議会を傍聴しました。議員の質問に担当部署が的確な答弁をしていましたと思います。

傍聴席からは周囲が良く見えて正面に議長席、左右は担当部署の長がいて又町長がいて、小さいながらも感じの良い議会室での質疑答弁は本当に良かったと思いました。

私が記憶に残った質問は、企業誘致推進について

です。当町まで大手私鉄を積極的に誘致し電車を乗り入れるという案です。将来を見据えた良い質問だと思います。

私の案ですが誰もが必ず可能性を秘めていると思います。ただ必死になっていないから可能性が眠ったままになっているだけ、まずはこれをやるぞと決める事、あとはドアをノックして夢を見たい。



常任委員會  
高山 山下 流石 渡辺 渡辺 中野 佐藤 外川 倉沢  
泰治 利夫 恭史 武則 美雄 安子 正純 鶴義

見やすく述べておきますので、ぜひ手に取ってご覧ください。

今日は4人の一般質問がありました。今後も町民の皆さんからの声を町政に届け、皆さまの目線に立ち、共により良い町づくりを目指して参ります。

新しい年度がス  
タートいたしまし  
春風のさわやかな  
季節を迎える健やか  
にお過ごしのことと  
存じます。

編集後記

議会だより

議会を傍聴しませんか… 次の定例会は6月です。

# ふじかわぐちこ

2015.5 発行 富士河口湖町議会  
Vol. 編集 議会広報常任委員会  
46 ☎ 041-0382 富士河口湖

〒401-0392 富士河口湖町船津1700 TEL 0555-72-3167